

令和3年10月27日開催 第2回目黒区長期計画審議会会議録

| | |
|----|--|
| 会長 | 開会に際して、本日の配布資料及び委員の出席状況について報告をお願いしたい。 |
| 区側 | [資料の確認および出席者の確認] 出席者は24名であり、目黒区長期計画審議会条例第7条に定める定足数を満たしている。 傍聴希望者は5名である。 |
| 会長 | 傍聴について、本審議会では原則公開となっているため、許可したいと思うが、いかがか。 (異議なしの声) 異議なしのため、傍聴を許可する。 |
| 会長 | [2 会議録の取り扱いについて] 事前に、事務局から委員の皆様へ、「第1回目黒区長期計画審議会会議録」を送付している。修正等があればご指摘いただきたいが、特になければ、この内容にて確定したい。いかがか。 |
| | (意見無し) |
| 区側 | [3 第1回長期計画審議会での意見に対する回答について] ※資料1により、第1回長期計画審議会後に委員から提出された意見について、説明 |
| 会長 | ご質問やご意見等をいただきたい。 |
| | (意見無し) |
| 区側 | [4 目黒区基本計画素案について] ※資料2により説明 |
| 会長 | 事務局からの説明に対し、ご意見をいただきたい。 |
| 委員 | 普通に暮らしていると長期計画に関する情報が入ってこない。どのように周知していくかが課題である。 今後目黒区の人口を維持することが課題の一つではないか。リモートが進む等で都心に住むことが必要なくなる世代、例えば単身者や子育て世代が郊外に引っ越すことも増えてくるだろう。基本計画内である程度解消するのか、それとも含むものなのか方向性を伺いたい。 |
| 区側 | 周知啓発の方法について、本計画を基本としてあらゆる計画が行われていることを、できるだけ多くの方にご理解いただけるような工夫をして周知していきたい。 人口の維持については、東京都全体の人口もここ数ヶ月間減少を続けている。目黒区も同様に、転出超過が続いている。人口の見通しで言うと、P5～6に記載をしているが、現時点ではこれが今後も続くかどうかが見通せない。 |

| | |
|----|---|
| | <p>一方で、目黒区の人口推計では、今後も人口は増えていくのではないかという見通しもある。コロナ禍における人口減少を見極めていく必要がある。</p> <p>目黒の魅力がどれだけ人口を引き留めることができるか、また、目黒に住んで充実した生活を送れるようにするという視点で、今回の基本計画を策定している。そうした意味で、すべての区の政策・施策を取り上げていることから、区全体で取組を進めていくことで、区の魅力や信頼を高めていくなど、地道に行っていきたい。</p> <p>住民の方には目黒の生活のしやすさ等を実感していただきながら、新たに目黒に引っ越してきてくれる方が増えるように努力したい。</p> |
| 委員 | <p>子どもの権利が尊重されるということが何度も登場することは、大変素晴らしい。</p> <p>P 3 7 「子どもを権利行使の主体として」と記載があるため、子ども自身の声が反映できるような区政になってほしい。</p> <p>具体的には、P 5 6 「区立中学校の適正規模・適正配置の推進」とあるが、発案されたのは平成13年と伺っている。P 5 0 に「その後社会状況の変化があった」と記載されているが、その社会状況の変化の中で、区立中学校の適正規模・適正配置を謳うことが適切ではないと考えている。</p> <p>先ほど「住みたい目黒にしたい」という回答があったが、数年後、近隣には160世帯の入る分譲マンションができる、平成13年の基準で適正規模・適正配置するのはどうなのか。</p> <p>「子どもを権利行使の主体とする」「子どもの安全を確保する」と言うならば子どもの意見を聞くべきである。たとえば、緑が丘小学校から第八中学校まで歩くと、38分かかる。夏の暑さ、豪雨などの過酷な環境下でも38分歩かないと登校できないのはいかがなものか。子どもの権利・安全を守って欲しい。</p> |
| 区側 | <p>子どもの意見を聞くことについて、かつて第三中学校と第四中学校を統合して大鳥中学校を開校した際には、生徒にアンケート調査をしたところ、統合されたことで、友だちも増えてよかったという意見をはじめ、多くの肯定的な意見をいただいている。</p> <p>教育委員会としても通学区域、距離等も把握しながら進めている。社会状況の変化もあるが、よい学校・よい教育環境づくりの手法として、統廃合を取り入れている。</p> |
| 委員 | <p>素案はよくできていると感じた。ポイントが5つあるが、PDCAをまわす、EBPMの推進などに共鳴した。</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>P 2 の図表に主な補助計画という記載があるが、現行の基本計画では、実施計画と一緒に並んでいたが、基本計画のタイミングでは関連してこないのではないかと。</p> <p>取組の方向は、基本計画の概要では削除されているため、削除した方がよいのではないかと。</p> <p>各目標別の関連計画が書いてあるが、中身がよく分からない。基本計画を中心に書いてあるなら記載は不要に思う。</p> <p>また、基本計画はP D C Aで回すとのことだが、実現できている、または実際に成果が上がっているのかについては、実施計画についても同様に行うべきである。財源・人手不足によりすべての施策を実行することは難しく、民間や国にボールを投げることになるのではと危惧している。基本計画と実施計画のP D C Aを繋げることについてどう考えているか。</p> |
| 区側 | <p>1 点目のご意見は、表記の仕方を検討する。</p> <p>2 点目、P D C Aの回し方、財源的に全ての計画に取り組めるのかという点においては、この計画はすべての分野を含む区政の中長期的な総合計画として位置づけている。</p> <p>財源の裏付けをもって、5年間で計画的に行うものについては、実施計画に落とし込んで、集中的に行っていく。</p> <p>それ以外の計画については、毎年の実施計画とは別に優先度を決めて取り組んでいきたい。</p> <p>基本計画・実施計画の中に、一定の成果指標を入れているので、P D C Aの視点で進捗度管理を行っていく。進捗が悪いものについては、なぜ進んでいないのか、どのように進めていくべきかを考えながら、柔軟に取り組んでいく必要がある。</p> |
| 会長 | <p>これまでの区政運営の中でも、P D C Aは実施されている。区政情報コーナーには資料がおかれていると思うので、確認していただければと思う。</p> |
| 委員 | <p>P 3 5 ・ P 3 9 が連動しているが、P 3 5 の施策3のところは、法律用語を揃えた方がよい。子育て世代包括支援センター・児童相談所は法律用語だが、子ども家庭支援センターは東京都の用法に基づく名称である。言葉としてレベル感を合わせた方がよい。</p> <p>P 4 5 成果指標が「利用人数・団体数」となっているが、人数だけでは計れないので、アウトカムで満足度指標があったほうがよい。</p> <p>P 5 4 学校教育の場で、いじめはあってはならない。いじめ解消</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>率を83%に設定しているが、この根拠はどのようなものか。</p> <p>P216 3つめの「避難所における良好な生活環境確保」において、「女性、子ども、高齢者、障害者、外国人」と並べているが、避難所での性被害・トイレの問題等、女性への対応は付記が必要ではないか。</p> <p>P218 防災教育の推進 「地域の小中学校において防災訓練を実施する」とあるが、石巻市大川小学校の被害を考えると、まずは教員が正しい知識をつけなければいけない。「教員の防災意識向上をした上で」、などの文言を加えることが必要ではないか。</p> <p>P225 3つめ「福祉避難所における要配慮者支援の推進」について、ハード面が書いてあるが、法律上ではソフトの部分も要件になってくる。手当てを行う介護・看護の人たちといったソフト面の対応とともにハード面の推進が必要なのではないか。</p> |
| 区側 | <p>ご意見を踏まえて検討したい。</p> <p>いじめの解消率の根拠は確認した上で回答する。</p> |
| 委員 | <p>まちづくりという面では、緑や水などの要素のバランスが取れたまちが住みやすいまちであり、これからの目標とすべきまちづくりである。</p> <p>P178 「みどりの保全創出」とあるが、緑を増やしていく、ということについて、目黒区は土地が高額なこともあり、役所が公園を買い取るのは効率が悪い施策である。街路樹を増やすのも難しく、民有地の緑を増やしていくことも大切である。また、緑被率が目標として掲げられているが、沿道の緑化も重要と思われる。</p> <p>P179 「屋上・壁面緑化」とあるが、道路に面した建物について区民の方に緑化してもらい、容積率で使わない部分を緑で埋めてもらうのはどうか。評価指標が緑被率だけでは一面的であると思う。緑の豊かさを表現できるよう努力して欲しい。</p> <p>道路は、防災、福祉、まちの利便性に関わる大変重要な公共施設である。P202 幹線道路、都市計画道路の整備率が政策目標になっているが、目黒の将来のまちづくりを考えると、幹線道路を整えるのは大事だが、細街路と都市計画道路を結ぶ地区集散路が、ある程度ネットワークになることも重要だろう。</p> <p>都市計画道路と同様の道路を整備していくのは難しいが、新たな開発や再開発の際にセットバックを実施してもらい、歩道の幅を車椅子でも通れるように広げることが住みよいまちづくりに繋がるのではないかと思う。道路の指標を都市計画道路の整備率でみるのは一般的</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>である。工夫してほしい。</p> |
| 委員 | <p>「新たな日常」の意味が曖昧である。目黒区のめざす新たな日常とは何か、ということを詰めていければよいと思う。</p> <p>区が考えている新たな日常とは何か聞かせて欲しい。</p> <p>子どもの教育の部分で、ジェンダーの視点が抜けているのではないか。</p> <p>また、いじめは人格形成や人権が育てられていないことに起因しているのではないか。</p> <p>コロナ禍で家庭内暴力などの痛ましい事件も起きている。こうしたことも踏まえて新たな日常をどうつくるのか。努力指標として計画にしっかりと盛り込んでもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>計画がすべて実現できたら素晴らしいことではあるが、いかに取り組んでいくかということが重要だと思う。</p> |
| 委員 | <p>誰一人とりのこさない、というSDGsの理念の見える化ができて大きな一歩になっている。ポストコロナの新しい社会を築く上で、一人ひとりがどのような行動を求められているのかを学ぶことが大切である。SDGsの理念は、ポストコロナの羅針盤となるといわれているくらい大切であり、自治体の事務はSDGsに関わっているため、SDGsに貢献している事業だということに気づいていくことが重要だ。</p> <p>内閣府の2019年の調査では、SDGsについて自治体職員の認知度が低いという結果がでている。SDGsを認識して事業をやっているかどうかが大きく、庁内の勉強会やセミナーを実施していくと思うが、その後は、どのようにSDGsを推進するか考えているのか。</p> |
| 区側 | <p>SDGsの多くの視点が区政の取組の根本にあるという認識をしているつもりであるが、関連づけて位置づけたということは一つのポイントである。職員の意識醸成の第一歩になったと考えている。</p> <p>一方で、ご指摘のとおり、今後どう展開していくかということが重要である。基本計画を作って終わりではなくて、実施計画にもSDGsの視点が入っているが、具体的にどのように取組に関連づけていくのか引き続き検討していきたい。</p> <p>また、SDGsに関しては、改めて区民の方々にも周知啓発を図っていく。</p> |
| 委員 | <p>目標4の「みどりを増やす」ということに関心がある。公園の不足は23区中で目黒区が21番目であり、何かしらの方法で公園の面積を増やしていかなければならないと考えている。</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>一方で、目黒区の土地価格は高いという問題もあるため、空き家や空き地をうまく利用して行くことが重要かと思う。</p> <p>また、目標5に政策として3つが挙げられており、自然災害が主に示されている。コロナについては、その中で触れられているが、独立した政策として4番目として位置づけることも一つではないか。</p> |
| 会長 | <p>基本計画のレベルでは、ある意味では抽象的な部分が出てしまうものである。個別計画でより具体化されていければと思う。</p> |
| 委員 | <p>内容については、近隣区も同様のことが書いてあるように思うため、目黒区としてのオリジナリティを出す必要がある。目黒区を持っているポテンシャルがやや見えてこない。</p> <p>行政の職員が思う目黒区のポテンシャルと区民が思っているポテンシャルには乖離があると思われるため、それを埋められるような場があるとよいのではないか。</p> |
| 会長 | <p>他区とは近い内容となっているものもあるが、計画の濃淡に現れている。区民の方に十分に理解してもらえるような努力をしていかねばならない。</p> |
| 委員 | <p>目黒区が子どもたちにとって、将来にわたって、健やかに成長できる、安心して子育てができるまちづくりをしていきたい。</p> <p>たとえば、子どもの権利ということが取り上げられていることはよいことだと思う。</p> <p>また、妊娠・出産・産後一体的に支援を行うことが大事なので、それを取り上げることが重要だろう。ゆりかごめぐろでは、助産師さんや保健師と面談するが、一人親の家庭や、基礎疾患のある方だけでなく、核家族の中で産後引きこもりがちになっていくことを考えると、ローリスクでもすべての方を対象とした問題になっていることに気づいてほしい。北欧のネウボラを目指してほしい。</p> <p>継続的に支援していける仕組みづくりが重要。基本計画の施策にも反映してほしい。</p> <p>産後ヘルパー事業もあるが、産後ケアの内容に即してサービス内容を拡充したり、利用可能期間を伸ばしたりしてほしい。</p> <p>行政サービスだけでなく産後ドゥーラやベビーシッターなど民間サービスの利用に助成金を出す等、利用しやすくしてほしい。</p> <p>区立の保育園と私立の保育園、施設理念、格差もある。保育園の質の評価を客観的にして、利用者に公開するのがよいのではないか。</p> <p>就業している母親が増えているため、子どもに幼児教育を受けさせる機会がほしい。例えば働いていても幼稚園に入園できるなど、選択</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>肢が増えるとよい。</p> <p>長期休暇中の預かり保育が課題となっているため、幼稚園のこども園化推進に取り組んでいただきたい。長期計画の取組を深めてもらえるとありがたい。</p> |
| 会長 | <p>誰ひとり取り残さないよう、施策を具現化するご意見として受け止めていければと思う。</p> |
| 委員 | <p>計画をPDC Aサイクルに基づき進捗管理する中で、作業としても、チェック機能を果たしていくことが大変重要である。そこをしっかりとやってほしい。</p> |
| 会長 | <p>追加のご意見等については、F A X ・メールなどでも区へ頂戴したい。</p> |
| 区側 | <p>[事務連絡]</p> |
| 会長 | <p>次回の開催は、来年1月下旬を予定している。</p> <p>直接のご意見を頂戴し、それを踏まえてさらに取りまとめた上で1月に最終的に確定して報告書にまとめる。</p> <p>2月には長期計画審議会で答申を行い、3月に長期計画の策定を行う。詳細な日時等については、別途事務局から開催通知を送付する。</p> |
| | <p>以 上</p> |